



話の素材 (学習資料)

森の子どもたち





学習のポイント

子どもたち一人一人が成長し、人間らしく生きていくためには何が必要でしょうか。食べ物や衣服、家やお金？ 恐ろしいことから守ってもらうことや、自分の意見を聞いてもらうことも大切です。人間らしく生きるために大切なものが権利です。

しかし、今の社会の中では権利行使の主体として尊重されなかったり、人間としての尊厳が傷つけられたりする現実があります。

そこで、子どもの権利についてさらに理解を深めるために、子どもたちのおかれている現実と権利を結びつけ、考えてみましょう。



すすめ方 【90分】

準備物 付箋(大), 模造紙, マジックペン

1. 4～5人のグループをつくります。
 - ・子どもの命名の由来について紹介します。
2. 「話の素材」のイラストを見て感じたことを話し合います。
 - ・イラストから、現在の子どもの問題の糸口をつかみます。
(例: 遊び、学び、食事 etc)
3. 子どもたちの現実の生活から、問題を拾い上げまとめます。
 - ・子どもたちが直面している問題を付箋に書き入れます。
 - ・それぞれの問題をグループで整理します。
4. 問題を「子どもの権利条約(4つの柱)」と結びつけ、話し合います。
 - ・付箋を4つの権利の枠にあてはめていきます。
 - ・活動を通して思ったこと・考えたことを話し合い、まとめます。
(気づいたこと、疑問に思ったことなど)
5. グループでまとめたことを発表します。
6. 学習についてのふりかえりをします。
 - ・子どもの権利条約の要点を説明し、まとめます。



活動例 子どもの現実と人権を結ぶ

① 生きる権利	①	付箋 (大)			② 育つ権利
				②	
③ 守られる権利		③			④ 参加する権利
			④		

①の例

〇夕ご飯くらい家族で食べたいけれど、なかなか難しい。

②の例

〇日曜日なんか、くたびれて寝ていることが多く心配だ。

③の例

〇日が暮れるのが早くなって子どもたちの下校が心配だわ。

④の例

〇夜遅くまでメールを打っているようだけれど、大丈夫かな。



子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6(1994)年に批准した児童の権利に関する条約(子ども権利条約)では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。

また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

生きる権利

- 防ぐことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



など。

育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。



など。

子どもの権利

守られる権利

- あらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



など。

参加する権利

- 自由に意見を表したりすることができ、子どもの発達に応じてその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。



など。

